



京都

市会だより

増刊号

令和3年(2021年)
4月10日発行

京都市会ホームページ

京都市会 検索



●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713 京都市印刷物第034032号

2月市会 予算特別委員会総括質疑

3月17日水、18日木

どうする財源不足!
感染症対策を含む過去最大の
一般会計1兆円超の予算を
徹底審議!

2月市会では、事業の休廃止や縮小など聖域なき見直しによる財源捻出について、また、保健・医療・セーフティネットをはじめとした全会計総額約1兆8,877億円の令和3年度当初予算について、徹底的に議論しました。



吉井 あきら 予算特別委員長
山科区(自民)



全議員66名で構成する予算特別委員会総括質疑では、次の41名が今後の市政運営について市長等と厳しい議論を行いました。その一部をご紹介します。

用語解説 「総括質疑」とは?

京都市の令和3年度当初予算を審査するため、予算特別委員会を設置しました。特別委員会では、3月4日～11日に、事業を担当する各局に詳細な質問を行い、その総仕上げとして、市長や副市長らと一問一答で質疑を行うのが、総括質疑です。

3月17日水



3月18日木



白熱した議論の様子をお手元のスマートフォンでご覧いただけます。

予算特別委員会

総括質疑1日目

3月17日水

※質疑順に掲載しています。



寺田 一博
上京区(自民)

巨額の財源不足の中、これまでの延長線上でない改革を行うには市民の理解が必要だ。



加藤 あい
左京区(共産)

コロナ禍という惨事に便乗した福祉削減をやめて、命と暮らしを全力で守るべきだ。



大道 義知
南区(公明)

新型コロナウイルス感染症の後遺症等の新たな課題やワクチン接種にどう取り組むのか。



山岸 たかゆき
伏見区(民フ)

公債償還基金の取崩しから脱却できるよう、期限を決めて行財政改革に取り組むべきだ。



森 かれん
上京区(京都)

市役所における障がい者雇用の法定雇用率の達成に向けて、積極的な取組が必要だ。



中村 三之助
上京区(自民)

中小企業等再起支援補助金は、制度内容を周知徹底し、状況に応じた追加補正が必要だ。



くらた 共子
上京区(共産)

高齢者施設に加え、医療機関や障害者施設に対して定期的なPCR検査を実施するべき。



みちはた 弘之
伏見区(自民)

人口減少の中、若者が京都市で産み育み、勉強し勤労する意欲を持つため、どうするか。



兵藤 しんいち
北区(公明)

今後の認知症対策には、サポーターの育成や地域による支援の体制づくりが必要だ。



山田 こうじ
右京区(共産)

コロナ禍による市バス・地下鉄の大幅な減収に対し、国からの損失補てんが必要だ。



森田 守
右京区(自民)

行財政改革による財源捻出215億円には、当然減が多く見られる。正確な説明を行うべき。



西野 さち子
伏見区(共産)

男女共同参画を推進してきたが、性別による役割分担の現状をどう認識しているのか。



天方 ひろゆき
西京区(民フ)

厳しい経営状況の市バス・地下鉄を市民の足として守るために、どう取り組むのか。



平山 たかお
東山区(自民)

厳しい行財政改革は、市長が本気でやると決めたなら必ずできると思う。本気度を伺う。



国本 友利
左京区(公明)

コロナ禍と財政難という二つの困難の中、地域企業の下支え等の経済対策の方針を伺う。



裏面に続きます。



小山田 春樹
右京区(京都)

コロナ禍で、患者や家族、医療関係者や弱い立場の人々の人権を、どう守っていくのか。



やまね 智史
伏見区(共産)

不要不急の大型投資ではなく福祉の予算を削るのは乱暴。コロナ禍の今こそ増やすべき。



やまざ まい子
下京区(自民)

セーフティネットの役割をもつ図書館の利用機会を増やし、本に親しめる工夫を求め。



くぼた まさき
伏見区(維新)

東日本大震災から10年。更なる防災意識の向上について現状認識と今後の方針を伺う。



田中 明秀
西京区(自民)

市バス事業の管理の受委託は経営改善に効果を発揮したが、今後はどう取り組むのか。



森川 央
西京区(無所属)

都市格向上が定住・移住促進につながっていない。全局横断体制の司令塔を作るべき。※2日目も質疑

予算特別委員会

総括質疑 2日目

3月18日

※質疑順に掲載しています。



棕田 隆知
南区(自民)

未曾有のコロナ禍と財政の危機を乗り越えるため、市民や事業者と危機感を共有すべき。



樋口 英明
左京区(共産)

国の地方交付税削減方針を転換させ、厳しい市民の暮らしと生業を支援すべきだ。



平山 よしかず
西京区(公明)

コロナ禍での深刻な社会的孤立の防止に向け、市民と力を合わせた施策の推進が必要だ。



片桐 直哉
北区(民フ)

景観政策について、地域のビジョンや特性に合致すれば中心部の高さ規制も緩和するのか。



神谷 修平
下京区(京都)

新型コロナウイルスの変異株が危惧される。検査と感染の広がりやどう捉えているのか。



下村 あきら
下京区(自民)

要望をしていた防災服の全面的なリニューアルが行われた。その効果をどう感じるか。



鈴木 とよこ
山科区(共産)

子育て支援充実に向け、中学校卒業までの医療費無料化、う歯対策事業の継続が必要だ。



田中 たかのり
右京区(自民)

行財政改革に向け職員の意識改革が重要。市長の熱意を職員一人一人にどう届けるのか。



松田 けい子
山科区(公明)

子宮頸がんのワクチン接種に係る正しい情報の提供と、検診受診率向上の対策が必要だ。



ほり 信子
右京区(共産)

職員一人が担当する生活保護受給世帯数を国基準の80以下とし、丁寧に対応すべきだ。



さくらい 泰広
左京区(自民)

市営住宅団地再生事業は、ハード面の整備が一つの目的だが、政策としての目的は何か。



かまの 敏徳
下京区(共産)

中小企業の危機的状況に対し、国に支援を求めるだけでなく市が追加で支援すべきだ。



小島 信太郎
山科区(民フ)

公平性や受益者負担も考えながら、市の魅力を高めるための行財政改革を進めるべき。



豊田 恵美
左京区(自民)

広域的な森林管理で生産性を高め、自立した業としての林業を育成する必要がある。



湯浅 光彦
右京区(公明)

財政危機下での予算減額には市民への丁寧な説明が必要で、情報公開も不可欠だ。



大津 裕太
中京区(京都)

市民生活を守るために最低限必要な公債償還基金残高1,000億円の根拠と妥当性は。



井坂 博文
北区(共産)

過去の大規模公共事業が財政に及ぼした影響に向き合い、財政危機の要因を総括すべき。



井上 よしひろ
右京区(自民)

バリアフリー条例改正に係る新基準の適用について宿泊事業者の相談に丁寧に対応すべき。



宇佐美 賢一
左京区(維新)

業務改善と市民サービス充実のため、改革への体制と権限を市長直轄組織にまとめるべき。



津田 大三
中京区(自民)

財政難は今に始まったことではない。なぜこれほど厳しいのか本質的な議論をしたい。

自民＝自由民主党京都市議員団
共産＝日本共産党京都市議員団
公明＝公明党京都市議員団
民フ＝民主・市民フォーラム京都市議員団
京都＝地域政党京都市議員団
維新＝日本維新の会京都市議員団

*** 市会からのお知らせ ***

**令和3年
定例会の開催予定**

会期は令和3年4月22日(木)から令和4年3月25日(金)までの338日間の予定です。4月開会市会を4月22日に開会します。5月市会を5月18日(火)から6月1日(火)まで開催する予定です。詳しい市会の日程は、市会ホームページから御覧いただけます。(※日程は変更になる場合があります。)

■本会議 代表質問 5月21日(金) 市民の声を届ける!

議員が各会派を代表して、市政の各般にわたって、市長に質問・提言を行います。

**KBS 京都テレビ
でも生中継**

インターネット議会中継

本会議や委員会の生中継と録画をインターネット配信しています。

本会議等の傍聴

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止のため、本会議の傍聴は、当面の間できるだけお控えいただきますようお願い申し上げます。

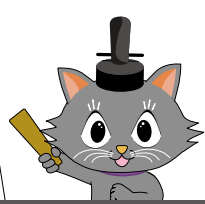
※傍聴のご案内については、変更の可能性があります。最新の情報は、市会ホームページをご確認ください。

2月市会前半の審議結果(令和2年度補正予算の議論など)について、市会だより114号(令和3年4月15日号)でお伝えしています。

市会だよりは、市民しんぶん(区版)に挟み込んで配布している他、区役所や公共施設内でも配架しています。



**こちらも
ぜひご覧下さい!**



京都市会
マスコット
キャラクター
またきち